

事業概要説明シート

事務事業番号

10101010002

事務事業名	エコオフィス推進事務																																																																			
事業開始年度	2000(H12)年度				担当部署	環境保全部 環境総務課																																																														
根拠法令	地球温暖化対策の推進に関する法律、エネルギーの使用の合理化に関する法律、大阪府温暖化の防止等に関する条例、枚方市役所CO2削減プラン～枚方市役所地球温暖化対策実行計画～																																																																			
実施方法	☒ 直営 ☐ 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) ☐ その他()																																																																			
目的 (何のために)	地球温暖化防止など地球環境の保全に向けて、市役所が一事業者として、自ら率先して環境負荷の低減に努め、環境保全活動の継続的な改善を図る。																																																																			
対象 (誰・何を対象に)	市職員等																																																																			
事業内容	①ISO14001の取り組み ・平成13年10月に環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得し、順次、適用範囲を拡大するとともに、環境保全活動を推進。なお、ISO14001の取り組みについては、平成24年度末をもって終了した。 ・各学校園において、教職員や幼児、児童、生徒などを対象とした市独自の学校版EMSプログラム「S-EMS」に基づき、省エネルギーの取り組みをはじめ環境保全活動を推進。 ②エコオフィスの取り組み ・「枚方市役所CO2削減プラン～枚方市役所地球温暖化対策実行計画～」や「枚方市エコオフィスに関する取り組み指針」などに基づき、省エネ・省CO2対策を実施。 ・「枚方市低公害車等導入指針」に基づき、公用車の車両保有状況を把握するとともに、車両買い替え時に、低公害車等を優先的に購入。 ・「枚方市環境に配慮した物品の購入(グリーン購入)推進指針」に基づき、市役所のグリーン購入を推進。 ③枚方市環境マネジメントシステム(H-EMS)の構築 ・環境保全活動の一層の推進とさらなる事務の効率化を図ることを目的に、ISO14001の取り組みで得られたノウハウを生かしながら、これまで計画や指針ごとに行っていた管理を集約・一元化した環境マネジメントシステム「枚方市環境マネジメントシステム(H-EMS)」を新たに構築した。																																																																			
類似事業	なし																																																																			
事業の必要性	エコオフィスの取り組みは、市役所が一事業者として、自ら率先して環境負荷の低減に努めることで、市民、事業者の取り組みへの啓発につながることから重要な事業である。																																																																			
コスト	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">H23年度決算</th> <th colspan="2">H24年度決算</th> <th colspan="2">H25年度当初予算</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正職員</td> <td>2.31 人</td> <td>18,688 千円</td> <td>1.35 人</td> <td>10,800 千円</td> <td>1.00 人</td> <td>7,906 千円</td> </tr> <tr> <td>再任用職員</td> <td>0.10 人</td> <td>345 千円</td> <td>人</td> <td>0 千円</td> <td>人</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員等</td> <td>人</td> <td>千円</td> <td>人</td> <td>千円</td> <td>人</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>人件費計(A)</td> <td></td> <td>19,033 千円</td> <td></td> <td>10,800 千円</td> <td></td> <td>7,906 千円</td> </tr> <tr> <td>直接経費(B)</td> <td></td> <td>1,179 千円</td> <td></td> <td>952 千円</td> <td></td> <td>120 千円</td> </tr> <tr> <td>総事業費(A+B)</td> <td></td> <td>20,212 千円</td> <td></td> <td>11,752 千円</td> <td></td> <td>8,026 千円</td> </tr> </tbody> </table>												H23年度決算		H24年度決算		H25年度当初予算				従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	正職員	2.31 人	18,688 千円	1.35 人	10,800 千円	1.00 人	7,906 千円	再任用職員	0.10 人	345 千円	人	0 千円	人	0 千円	非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円	人件費計(A)		19,033 千円		10,800 千円		7,906 千円	直接経費(B)		1,179 千円		952 千円		120 千円	総事業費(A+B)		20,212 千円		11,752 千円		8,026 千円
		H23年度決算		H24年度決算		H25年度当初予算																																																														
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費																																																													
正職員	2.31 人	18,688 千円	1.35 人	10,800 千円	1.00 人	7,906 千円																																																														
再任用職員	0.10 人	345 千円	人	0 千円	人	0 千円																																																														
非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円																																																														
人件費計(A)		19,033 千円		10,800 千円		7,906 千円																																																														
直接経費(B)		1,179 千円		952 千円		120 千円																																																														
総事業費(A+B)		20,212 千円		11,752 千円		8,026 千円																																																														
財源内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23年度決算</th> <th>H24年度決算</th> <th>H25年度当初予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>円千</td> <td>円千</td> <td>円千</td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>円千</td> <td>円千</td> <td>円千</td> </tr> <tr> <td>受益者負担 (使用料等)</td> <td>円千</td> <td>円千</td> <td>円千</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>円千</td> <td>円千</td> <td>円千</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>20,212 円千</td> <td>11,752 円千</td> <td>8,026 円千</td> </tr> </tbody> </table>											H23年度決算	H24年度決算	H25年度当初予算	国庫支出金	円千	円千	円千	府支出金	円千	円千	円千	受益者負担 (使用料等)	円千	円千	円千	その他	円千	円千	円千	一般財源	20,212 円千	11,752 円千	8,026 円千																																		
	H23年度決算	H24年度決算	H25年度当初予算																																																																	
国庫支出金	円千	円千	円千																																																																	
府支出金	円千	円千	円千																																																																	
受益者負担 (使用料等)	円千	円千	円千																																																																	
その他	円千	円千	円千																																																																	
一般財源	20,212 円千	11,752 円千	8,026 円千																																																																	
平成24年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容					金 額																																																														
	認証機関への審査費用(手数料 940千円)					940 千円																																																														
	環境ハンドブック作成経費(印刷製本費 12千円)					12 千円																																																														
						千円																																																														

事業概要説明シート

事務事業番号

10101010002

事務事業名	エコオフィス推進事務		
事業開始年度	2000(H12)年度	担当部署	環境保全部 環境総務課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H23年度	H24年度	H25年度(見込み)
活動実績	① 市の事務事業に伴い排出された温室効果ガスの総排出量(H25年度からは対象範囲や排出係数を変更。)	t-CO2	52,818	52,607	73,504
	② グリーン購入率	%	95	96	95
	③ 低公害車等の導入率	%	71	80	85
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	①				
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	ISO14001の取り組みで得られたノウハウを生かしながら、これまで計画や指針ごとに行っていた管理を集約・一元化した枚方市独自の環境マネジメントシステム(H-EMS)を運用することにより、環境保全活動の一層の推進とさらなる事務の効率化を図る。				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	国や各地方公共団体で、エコオフィスの取り組みが行われている。大阪府では、平成11年にISO14001の認証を取得し、平成20年2月には、すべての出先機関において認証を取得。環境ISOのノウハウを習得できたことから、平成21年3月末をもって認証を返上し、環境ISOの規格に準拠した府独自の環境マネジメントシステムを運用。				
特記事項	グリーン購入の件数 1665件 (平成24年度) 低公害車導入台数 16台 (平成24年度) 活動実績で示した「市の事務事業に伴い排出された温室効果ガスの総排出量」は、枚方市役所CO2削減プランの改定に伴い、対象範囲の拡大や温室効果ガス排出係数を変更したことから、数値が大幅に増加している。 また、枚方市役所CO2削減プラン(2007-2012年度)では、平成17年度を基準年度に設定し、平成24年度に温室効果ガスの総排出量を17%削減することを目標としていたが、平成24年度には、20.6%を削減し、削減プランの目標を達成することができた。				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策 (平成24年度)	改善	環境保全活動の一層の推進と更なる事務の効率化を図ることを目的に本市の組織体制や活動内容に適した環境マネジメントシステムを構築する。			
一次評価結果 (平成24年度)	・庁内のエコへの意識向上をさらに進めるとともに、事務コスト削減についての可能性もあるのでは ・全体を牽引するエコ施策に取り組む必要があるのでは				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続(改善済み)	・ISO14001に代えて、新たに構築した「枚方市環境マネジメントシステム(H-EMS)」及び「エコオフィスに関する取り組み指針」の運用により、環境保全活動の一層の推進とさらなる事務の効率化やコストの削減を図る。 ・平成25年3月に対象範囲を拡大し策定した枚方市役所CO2削減プラン(2013ー2017年度)に基づき、事業を実施する。			